



Home Coming Day—卒業生の学びのお手伝い—

校友会では、卒業生のための学びの場作りを短大と共に実行しています。絵本専門士を目指すみなさんのための絵本専門士認定試験対策講座運営のお手伝いや合格した方には、費用の一部助成を行います。また、総合子ども学研究所が行う卒業生との共同研究会や公開講演会運営のお手伝いを行っておりまます。

卒業生の学びに場に関する情報は、校友会ホームページや校友会LINEでお知らせしております。校友会LINEは下記のQRコードを読み取ってご覧になってください。

稻毛キャンパスに移転しても、実践的な学びの場は「あの頃」と変わりません。自分磨きのために敬愛短期大学に足を運んでみませんか。

詳しくは校友会ホームページをご確認ください。

<https://www.chibakeiai.ac.jp/kouyukai/>

お問い合わせ先 yoshihisaotsuka@outlook.jp(事務局長 大塚)

編集後記

稻毛キャンパスに移転して半年が過ぎました。近代的な学習環境に驚いたこともあります。緑の少ない都会のキャンパスですが、変わらないのは学生の真剣な学びの姿です。また、それに応えようとする先生方の優しい眼差しに「啐啄同時」(そつたくどうじ)の言葉を思い出します。敬短の

学びは稻毛でも生きていることを実感します。

よりよき保育者育成の環境作りにこれからも校友会は全力で支援を行って参ります。また、会員の皆様の声をいかした運営を行って参りますのでよろしくお願いします。

(敬愛短期大学校友会事務局長 大塚孔久)

校友会LINE登録のお願い

校友会では、郵送ではお送りしきれない情報をホームページで発信しています。情報を更新する度にLINEでお知らせしています。まだ、登録されていない方はこのQRコードにてご登録ください。



お便りお待ちしております!!

事務局では会員の皆さんのご感想・お便りをお待ちしています。

◎郵送先

〒263-8558 千葉市稻毛区穴川1-5-21 敬愛サービス内

敬愛短期大学校友会事務局

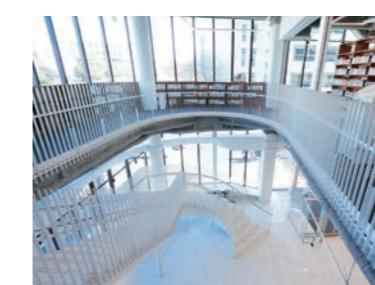
E-Mail yoshihisaotsuka@outlook.jp(事務局長 大塚孔久)

◆お知らせ 会員の皆様へ会報を送付しておりますが都合で返送されてくる方がおります。都合により送付不要の方は校友会事務局迄ご連絡下さい。

敬愛短期大学 校友会報

Vol.32

発行日/令和6年10月1日
編集・発行/敬愛短期大学校友会
発行責任者/片山喜久子
〒263-8558 千葉市稻毛区穴川1-5-21 敬愛サービス内
TEL.043-306-8964



contents

ご挨拶 2

敬愛短期大学校友会会长 片山 喜久子

敬愛短期大学学長 中山 幸夫

稻毛キャンパスに移転して 3

校友会会計 伊藤 ツネ子

校友会副会長 坂下 誠

稻毛キャンパスの推し 4-5

敬愛短期大学 1年 本澤 七海

敬愛短期大学 2年 三好 唯月

HomeComingDay 6-7

佐倉キャンパスでの同窓会

短大から 8

学生部長 教授 大野 雄子

学生会長 佐貫 咲弥奈

敬愛フェスティバル実行委員長 清水 美羽

敬愛フェスティバル2024 9

「和來」のお知らせ

校友会事務局から 10

事務局長 大塚 孔久

ご挨拶



稻毛キャンパスの活動に寄せて

敬愛短期大学校友会 会長

片山 喜久子

令和6年度、敬愛短期大学が佐倉市山王から稻毛キャンパスに移転し、敬愛大学と同じ校舎での学びがスタートしました。1号館の9階からは千葉市内はもちろん、遠く富士山や筑波山も望めます。

昭和48年に卒業した私にとっては、当時の校舎との違いになつかしさよりも新しい発見にワクワクしています。しかも、KEIAI★フェスタなど敬愛大学と共に活動する機会も得られ、学生さんにとっては学びの幅も増えます。校友会としては、学生さんへの支援に加え、校友会の皆様への支援もより充

実させたいと思います。えほんのもりや食堂で、幼稚園や保育園などで働き始めた若い会員の皆様にお会いして、お話を聞きたいです。多くの校友会の皆様、是非稻毛の新校舎にお運びくださいますように!



新教育棟完成とキャンパス移転のご挨拶

敬愛短期大学 学長

中山 幸夫

校友会の皆様には、日頃より母校の教育活動に多大なご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

学園創立100周年事業として進められていた稻毛キャンパスの新教育棟建設は、おかげさまで本年2月、無事竣工となりました。新教育棟の完成に伴い、本学は佐倉キャンパスから稻毛キャンパスに移転し、校名も新年度から「敬愛短期大学」に変更となっています。

新教育棟(新1号館)は地上9階、地下1階で、7Fを短大専用フロアとして教室を配置、保育実

習室は階下の6Fに置かれています。専任教員の研究室は8Fに廊下を挟んで向かい合わせで配置されており、全体的に機能的な設計となっています。そして、1Fフロアには佐倉キャンパスから引き継いだ「えほんのもり」を整備し、1万冊を超える読み聞かせの絵本が配架されました。今後は地域の子育て支援の拠点として様々なイベントが行われる予定です。

開学75年目を迎えて、本学は新たなステージへと移行しました。校友会の皆様には、引き続き母校へのご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

稻毛キャンパスに移転して



佐倉から稻毛へさらなる飛翔

田園風景の広がる佐倉キャンパスから近代的建物の稻毛キャンパスを見て、昔の穴川キャンパスの面影を探して見まし

た。なんと運動場しか懐かしさを感じません。

建物の思い出は何処に消えたのでしょうか?
サッカーをしたり、バスケットをしたりと遊んでやっていたことばかりです。

ふと、ラジオ体操の試験のことを思い出しました。
普段通りやりなさい。無理してきちんとやろうとすると

ぼろがでますよと力が入るといい結果はでません。

50年も前なのに思い出すものですね。

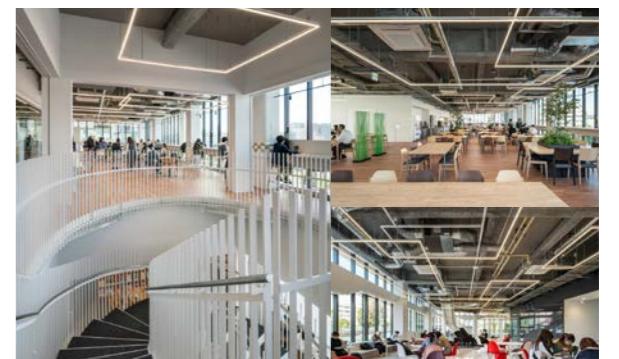
今も近所のなかよし広場で毎朝ラジオ体操をしながら一つ一つ丁寧にやろうと心掛けています。
富士山と筑波山の両方を眺められる9階建ての近代的素晴らしい校舎で、おおらかに学んでいきましょう。



キャンパス移転を経て

在学中、また、昨年度まで校友会役員として長年お世話になった佐倉キャンパスにお別れを告げ、敬愛短期大学校友会

輩と出会いますし、そういう方々と同窓であることを誇りに思います。キャンパスは変わりましたが、敬愛短大の伝統を大切にし、教育・保育に対する熱い思いをもった教育者を、今後も派出し続けて欲しいです。私たち校友会も、学生さんや卒業生の支援になる活動を続けていきたいです。



「稻毛キャンパスの推し」を現役学生さんに教えていただきました。

稻毛キャンパスの推し



本澤 七海さん 1年

1つ目は、1階に設置してあるグランドピアノです。お昼休みに学生や先生方が自由に演奏しており日々素敵な音色が聞こえてきます。

2つ目は、教室です。私は講義でよく利用するのですが、壁の一部が窓ガラスになっており稻毛の豊かな街並みを見てよい気分転換となります。



私の推しポイントは、1号館から見える稻毛の景色です。特に6階より上からは稻毛の景色を一望することができます。晴天の日には、まるで空の上にいるような、1号館のテーマ「雲」そのものだと思います。また、スカイツリーや富士山も見ることができます。ぜひ稻毛キャンパスで、このすばらしい景色を楽しみに来てください。



三好 唯月さん 2年



Home Coming Day

平成20年度 卒業生のみなさん から

佐倉キャンパスで実施できる最後の同窓会として、当時の担任の吉村真理子先生と副担任の久保木健夫先生にもお越しいただきE組クラス会を実施しました。

地震の影響や感染症で急遽参加が出来なくなってしまった子もいましたが、子どもと一緒に参加の子や学生気分に戻って単独参加の子などKEIAI★フェスタを作ったパーカーを引っ張り出して先生も一緒にみんなでワイワイ集まる事が出来ました♪

当時の教室では懐かしの黒板に子ども達も一緒に黒板アートをしたり、1人1人が教壇に立ての近況報告や先生たちからのプチ授業として学生気分を味わったり、当時の合唱曲を歌ったりなど学生時代を懐かしみながら過ごす事が出来ました。

佐倉キャンパスからは移転してしまいますが、今後も千葉敬愛短期大学で育まれた繋がりをみんなで大切にしていければと思っています。

ありがとうございました。



校友会では、5人以上で同窓会を開いた会員の方々にお1人1000円の助成を行います。

2023年度で佐倉キャンパスの幕が下りました。

最後の思い出にと佐倉キャンパスを使って、6組約150名のみなさんが同窓会を開いてくださいました。送っていただいた声をご紹介します。

平成21年度 卒業生のみなさん から

コロナ前から何となく夢見ていた学年同窓会が実現しました。

短大で同窓会をしたいと当時のチューター学生会に投げかけたところ、みんなが賛同してくれたおかげで勇気を出して企画することができました。

仕事や家庭、育児もある中で協力してくれて小さなことから相談にのってくれたり、楽しく打ち合わせしてくれたりして、何も言わなくても察して動いてくれる。頼れるチューター学生会。1人ひとりがちょっとずつ力を出し合って当日を迎えることができました。

初めは『絶対たのしい!』と自信満々だったのですが近づいてくるにつれて、緊張からか喜んでもらえるかな。当日どんな雰囲気になるのかな。と不安になることもあります

したが、無事に当日を迎えることができ、参加者から『やってくれてありがとう』『みんなに会えて嬉しい』と声をかけていただきすごく安心して嬉しかったです。

先生方が来てくれたり、学内を懐かしみながら探検していたり違うクラス同士だった子も席を移動して話が盛り上がっていたり、学年全体で、佐倉キャンパスで開催できて本当によかったですと改めて思いました。

経験して、1回やり方を学んだので、ぜひまたしっかり計画したいです。今度はさらに規模を大きくして、先輩や後輩が集まつても楽しいなと思いました。

校友会からの協力がなければ絶対に実現できなかつたので本当に感謝です。ありがとうございました。



詳しくは、右記メールアドレスへお問い合わせください。yoshihisaotsuka@outlook.jp

敬愛短期大学からのお知らせ

地域と共に歩む敬愛短期大学



学生部長・教授
大野 雄子

佐倉キャンパスから稻毛キャンパスへ慌しく引っ越しをし、今年度は、161名の新入生を迎えた。18歳人口が減少の一途をたどる中、定員を上回る入学者を迎えることができた奇跡は、「選ばれる敬愛短期大学」という今までの歴史と絆の上に築き上げられた新しい認識として広がりつつある。新棟は、まるで空の中にいるような透明で美しい教室で千葉市を一望できる。眼下に広がる地域との関りは益々大切となろう。

私にできる小さな一步として、「人間関係」の授業で「人+人プロジェクト」を企画した。学生は地域の子どもにとって重要な人間関係の一端であり、それを学生が意識的に身につけられるよう、近

隣保育施設に伺い、劇や歌、ダンス等の発表を通じ交流をもった。近隣保育施設は快く受けくださり、発表する学生の表情や子どもたちの反応に感動を感じた。子どもたちが育つ持続可能な地域環境を保育者を養成する地域のメンバーとして支え、またそれ自体が学生の深い学びに繋がるよう、新たな課題と楽しみの芽が稻毛に息づいた。地域と共に歩む敬愛短期大学の将来像が楽しみでならない。



「新しい環境でも輝く」

学生会長
佐貫 咲弥奈(2年)



学生会では、学生の大学生活をより良くするための団体として、学生が主体となり活動しています。

主に各サークル・委員会の会計管理や備品管理、イベントの企画・運営を行っています。

また、月に2回定例会を行い、今後の活動について話し合ったり、学生が大学生活を充実したものに出来るように考えています。主体的に取り組むことで、自ら進んで行動する力がつき、誰かのために活動する楽しさを味わえ、自分自身の学生生活を有意義に送ることが出来ます。

「みんなが笑い合えるフェスティバルを」

敬愛フェスティバル 実行委員長
清水 美羽(2年)



本年度の敬愛フェスティバル実行委員長の清水美羽です。

本年度からは大学との合同での開催となり、敬愛フェスティバルへと名称を変更致しました。今年のテーマは『和来』です。和来には「みんなが繋がる笑いの絶えないフェスティバルを実現させる」という意味を込めています。大学の方々との関わりも増え、短大生にとっても人脈の広がる素敵な機会だと感じています。話し合いを重ねて、伝統を引き継ぎながらも新たな取り組みなど、私たちらしい敬愛フェスティバルを実現できるよう、準備を頑張っています。



おすすめプログラム

19日

10:00~20:00
出店は16:00まで

20日

10:00~19:00
出店は17:00まで

19日

10:00~19:00
出店は17:00まで

- ◇ 【短大】クラス企画
- ◇ 1日目限定！短大校友会ストラックアウト
- ◇ パラスポーツ体験会
- ◇ 凤神ヤツルギ
- ◇ よさこい
- ◇ ピンゴ大会
- ◇ 短大合唱祭（出店終了後開催）



20日

10:00~19:00
出店は17:00まで

19日

10:00~19:00
出店は17:00まで

20日

10:00~19:00
出店は17:00まで

19日

10: